

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

第57号

いちかわ

松永おさみ 後援会だより

事務所 市川市原木1-22-16

電話047-327-1470

HP www.matunaga-o.net

# 26年度決算 黒字50億円余 市税収入初の八百億越え

**決算  
特集**

松永市議は議会選出の監査委員として初めて二十六年年度の決算審査に携わりましたのでその概要、主な特徴を報告させていただきますので参考にして下さい。

まず収支全般については、歳入歳出差引額（形式収支）は62億1千4百万円余で、前年度比7億9千万円余の増となりこの形式収支から翌年度へ繰り越すための財源4億6千万円余を差し引いた実質収支額は、57億4千8百万円の前年比7億3千万円余の増となっており、26年度は二年連続で形式・実質収支とも50億円以上の黒字となりました。

厳しい財政運営の中で多額な黒字となり評価すべきではありませんが、その反面国からの地方交付税が不交付団体となり、今後の対応の難しさが浮き彫りとなっています。因みに、県内の不交付団体は、本市をはじめ、浦安、成田、袖ヶ浦の四市です。

決算全体の審査結果としては全ての会計における調査、計数も関係書類と符合し、正確であると認められ、おおむね適正であると認められた。

○普通会計における財政力指数ですが、財政力指数は〇・九九八となっており地方公共団体の財政力を示す指数で1を越えるほど財源に余裕があるものとされているが、三年間の平均値で表されることから1を下回ると原則として地方交付税団体となります。

○経常収支比率 財政構造の弾力性を示す指標ですが残念ながら定年退職者の増加による人件費の増、生活保護費にかかる扶助費の増などにより1.6ポイント悪化し、94・9ポイントとなり本市の財政状況の中で最も心配される項目であります。これが改善に向けた対応は揺るがせに出来ない課題と指摘されています。

○市債の現在高は61.7億2千万円余で前年度より35億7百万円余（5.4%）の減となっています。

## 特別会計への繰入金

現在六特別会計と病院事業の公営企業会計に必要とされる資金を一般会計から繰入れて事業運営に当たっていますのでその金額一覧です。

### 特別会計名

- ☆国民健康保険 三十八億円 前年比 五億円減
- ☆下水道事業 二十億円 一億円増
- ☆地方卸売市場事業 六千五百万円 五千二百万円増
- ☆介護老人保健施設 五億円 六千万円増
- ☆介護保険 三十三億円弱 六千五百万円余増
- ☆後期高齢者医療 五億四千万円弱 五千七百万円余増
- 病院事業（リハビリテーション病院）について、平成十年に「寝たきりの人をつくらぬ」を基本理念として開設以来住民福祉の増進に努め公営病院のパイオニア的存在として事業展開してきたが当病院を取り巻く環境は大きく変化し民間医療機関が主な担い手となってきている状況にある。

二十六年年度の医業収益は約十一億九千万円、医業費用は約十六億二千万円で結果として医業損失は四億三千万円余の赤字を生じている。

### 決算の主な特徴

○歳入の根幹である市税収入が史上初の八百億円（前年比約十六億円増）を越え収納率も九十六・三%と改善され、歳入全体に占める割合は五九・九%となっています。

○地方債残高の縮減 過去最高額であった平成十年度の約九四一億円から着実な財政運営の中で二十六年度は約六一七億円と過去二十年のうちで最も少ない残高まで縮減しており努力のあとが見受けられる。

○審査の結果は多数をもって認定されました。

### 財政調整基金残高

財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金であり、経済不況等による大幅な税収減によって収入が不足したり、災害の発生による多額の経費の支出が必要になったりするなど不測の事態に備え積み立てています。平成二十六年年度の残高は、一〇八億一千二百万円余となり、四年連続で残高を増やし過去最高額である。

# 九月議会

## 原木第二排水機場ポンプ増強 原木駅駐輪場が有料化

市川市議会九月定例会は九月四日から十月二日迄の二十九日間にわたり開催されました。九月議会は毎年、前年度の決算審査を行なう為今年も会期中の十四日から十七日迄の四日間にわたり本会議を休会として特別委員会を開きました。この外シルバークと称した長期休日があつた為会期が長きにわたりました。

今回の議事に市長から提出された議案等は合計三十六件ありました。内訳としては条例の制定、改正で十二件、補正予算五件、工事契約案件三件、指定管理者の指定延長四件等でありました。この内私達の居住する信篤・二俣地区に關係する大きな二件の案件があります。詳しくは後述しますが一件は原木第二排水機場ポンプ増設工事請負契約、一件は原木中山駅自転車駐輪場の使用料が無料から有料となります。

又、市議松永おさみは市の監査委員に就任したことに伴ない定期監査、決算審査に携わつたことから行政各般にわたり種々意見交換を行ない問題点の解決、見通し等指摘をして一定の成果効果が見い出せたことを受け一般質問は見送つたことを報告します。ご了承願います。

### 排水能力倍増

平成二十五年十月十五、十六日の台風二十六号の襲来により大きな被害を被つた原木三・四丁目周辺の水害防止の再発予防に向け原木第二排水機場のポンプ増設の為の工事契約が決まり着工の運びとなり、その完成が待たれます。なおポンプ能力は現在の約二倍強となり地域の水防に威力を発揮することが期待されます。

○現在の排水能力  
六〇〇mmポンプ二基 毎秒一、五m

○工事完了後の能力  
九〇〇mmポンプ一基増設で毎秒一、六m増となり今迄の二倍以上の能力アップとなります。

○工事代金 三億二十四万円 工期 平成二十八年十一月竣工予定  
請負業者 (株) 第一テクノ (千葉市中央区)

## 自転車駐車場が有料に

### 来年四月原木中山駅

今迄無料で使用していた原木中山駅の高架下の八八〇台の駐輪場が来年四月から有料となります。これは行財政改革により公の施設の経営効率化の一環として市内の無料駐輪場は全て有料化されることとなり年間約一億二千万円弱の赤字解消を図ること、使用料は月額定期で千三百円、日額使用料は百円です。なお有料化に向け駐輪場内の四か所の排水ポンプの改修、溢水対応としての路面舗装などの環境整備をはかり利用者の利便を図ることになりました。

## 九月補正予算の主なポイント

快適なまちづくりへの取組み ○北東部スポーツ施設整備事業(土地購入費等)一四億三千九百万円 老朽化している公共施設等への対応 ○道路施設修繕料・道路補修工事費等 七千九百万円 ○小・中学校等施設修繕料 五千三百万円 ○自転車等駐輪場施設修繕料三千三百五十万円 ○排水路施設修繕料 千五百万円 社会保障制度に係る事業費の増額補正 ○老人福祉施設整備費補助金 一億五千四百万円 ○介護施設等整備事業補助金 三千二百五十万円 ○障害者支援施設等整備費補助金 千八百二十万円 以上が主な事業等ですが総額二十二億三千万円の歳入歳出予算の補正で現在の一般会計予算総額は一千三百六十二億円余となりました。

## 祭礼・祭事ののご案内

- ★二俣日枝神社祭礼 10月8日～9日、12日
- ★原木日枝神社祭礼 10月10日～11日
- ★高谷大鷲神社祭礼 11月5日
- ★田尻日枝神社祭礼 10月10日～11日
- ★いきいきセンター祭(文化会館) 10月15日～16日
- ★信篤公民館文化祭 10月17日～18日
- ★行徳祭(行徳駅前公園他) 10月25日
- ★市川市民まつり 大洲防災公園 11月7日